

あります。あらかじめ子どもたちに知能検査をほどこし、知能程度が均質になるような六人のグループを四つつくり、周囲の影響を受けにくい、ワンサイドミラーのついた観察室で、絵本を見たり、物語を聞いているあいだの、子どもの眼の動きを見て、絵本や話手から眼をなした時間を行動記録器に記録してみました。その結果、子どもたちは絵本を見ながら物語を聞く方が、絵本を見ないで物語だけを聞く場合よりも、はるかに興味を集中させている時間の長いことがわかりました。同じ実験を二度別の絵本で繰り返ししてみました。結果は全く同じでした。

私は、この種の実験は、想像あそびの指導に、大きな意味をもつものと思っています。子どもの眼の動きが、絵本鑑賞における子どもの興味のもち方を見る一つの測定値として使えるし、したがってこれを用いて、ある程度絵本の選択が可能になると考えるからです。さらにこの測定値にしたがって子どもにも興味のあると思われる絵本を見せたあと、これがあそびにどのように反映するかを、ジュウコフスカヤの方法で観察してみると、一層おもしろい結果が生じるのではないかと考えます。

以上、想像あそびの機構に接近するいくつかの研究例をあげてみたわけですが、私は今後、こういった研究が、幼稚園の教師の手によって、どしどし行なわれるようになることを期待していま

す。想像あそびが幼児期に支配的である以上、このような研究は、幼稚園教育にきつと新しい局面を開くものと信ずるからです。こうして幼稚園の教育要領の各領域が、楽しい想像あそびの中で実現して行くならば、そのときこそ幼児教育の意義があらためて世に問われることになるのではないのでしょうか。（長野短期大学）

## 戸倉ハル氏を悼む

### 日本幼稚園協会

お茶の水女子大学名誉教授戸倉ハル氏は、九月十六日に逝去されました。氏は数十年にわたり、幼児教育界ならびに女子体育界に力を尽くされました。とくに本協会主催の夏期講習会には、昭和の初めより実技指導にあたられ、多くの貢献をしていただきましたことを厚く感謝し、ここにつつしんで哀悼の意を表します。